

愛され、選ばれる港へ

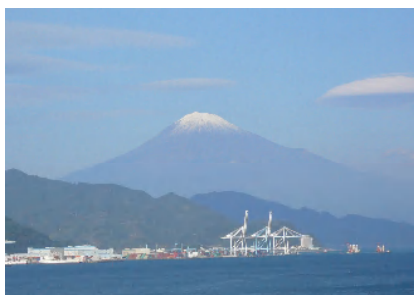
しみずぽーとにゅーす
Shimizu Port News



Shimizu Port Authority 清水港管理局

密着！水上巡視

～安心・安全な清水港をめざして PART II～



前は、「陸上巡視」について説明しましたが、今回は「水上巡視」です。申請のとおり船が係留しているか、漂流物がないか、防舷材や車止め等の係留施設が損傷していないか等をしっかりチェック。

異常が発見されたときは、早急に適切な措置を講じ、港湾施設の良好な状態の維持と港湾機能の増進を図るため、今日も巡視員は港内巡視艇「ひので」に乗り込みます！



しみずきんちゃん



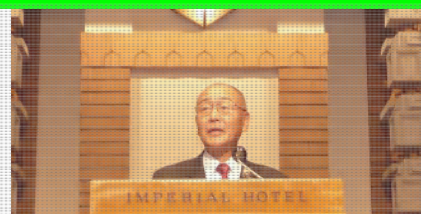
充実した港湾サービスを紹介！ 首都圏セミナー開催



首都圏を対象とした、清水港セミナー（清水港ポートセールス実行委員会主催）が、平成 20 年 11 月 27 日（木）に東京都内のホテルで開催されました。

同セミナーに参加していただいた約 700 名の荷主企業、商社、船会社等の物流関係者に対し、前田克己清水港管理局長が清水港の最近の動きや同港の優位性を PR し、清水港への利用を呼びかけました。

清水港は、航路数が増え続けており、現在は 26 航路、週 27.5 便と過去最高を記録しています。また、今後は新興津第 2 バースの整備と共に、新東名、中部横断自動車道のアクセス道の建設が進むことによって、利用者にとって利便性が良くなり、ますます使いやすい港になることが期待されています。



清水港ポートセールス実行委員長による挨拶



清水港管理局長による清水港概要説明

津波対策施設の紹介



清水港では、津波や高潮による被害から住民の生命や財産を守るために、防潮堤や胸壁を設置して備えています。同時に、海の玄関口である港としての機能も維持するため、荷役作業や人の往来に必要なところは、陸閘(りっこう)と呼ばれる門を設けて、人や車両の出入りを可能にしています。陸閘は、緊急時には閉鎖して津波や高潮を防ぎます。



胸壁 (きょうへき)



防潮堤 (ぼうちやうてい)



陸閘 (りっこう)

清水港管理局からのお願い！

津波や高潮はいつ起こるかわかりません。防潮堤を乗り越えて、岩場やテトラポットの上などの危険な場所で釣りをしている人がいますが、このような人が高波にさらわれて死亡する事故が毎年、全国で報告されています。**非常に危険**ですので、それらの場所への立ち入りは**絶対にやめてください**。



☆みなさまからのご意見やお問い合わせはこちらまで☆
〒424-0922 静岡市清水区日の出町 9-25 清水港管理局 企画振興課
TEL054-353-2203 FAX054-354-0380 e-mail : port@mail.wbs.ne.jp

